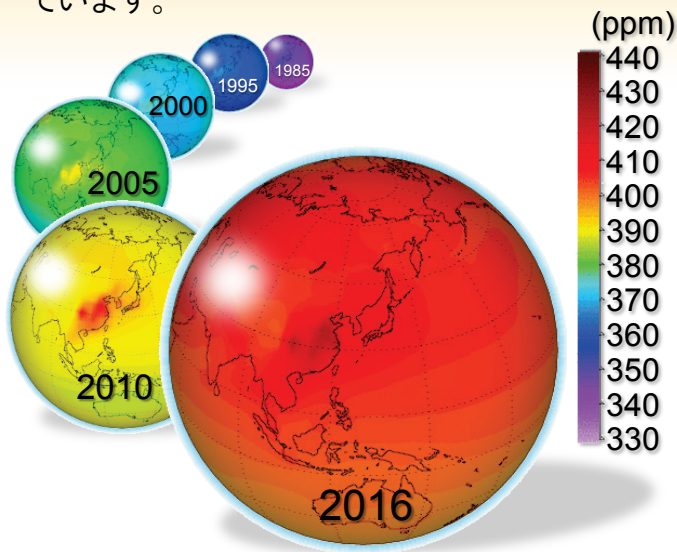


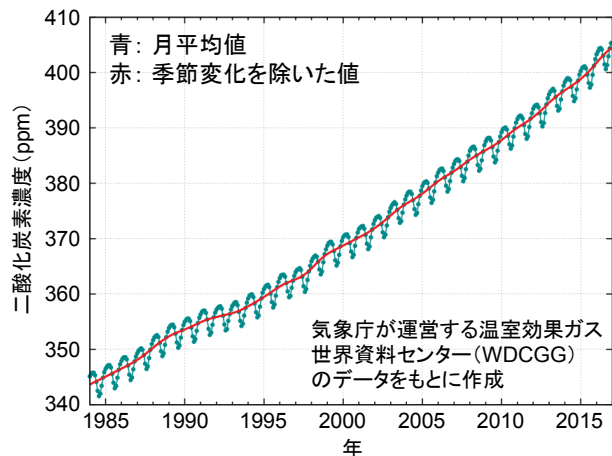
二酸化炭素濃度は増加しています。

大気中の二酸化炭素濃度

二酸化炭素の濃度は、産業革命以前と比べて45%増加。この30年間だけで16%も増えています。



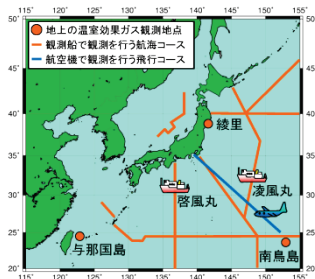
世界の二酸化炭素濃度（大気中の平均）



世界の二酸化炭素年平均濃度は、1984年は344ppmでしたが、2016年には403ppmに達しました(ppmは大気中の分子100万個中にある測定物質分子の個数)。

気象庁では、二酸化炭素をはじめとする各種温室効果ガスを、国内3か所の観測所のほか海洋気象観測船や航空機で観測し、その観測データを公開しています。

地球温暖化の問題は、地球上で暮らす私たちにとって、共通の大きな問題です。家庭で、学校で、そして職場で、地球の将来について考えてみませんか。



気象庁の温室効果ガス観測網



航空機観測
(東京 - 南鳥島)



海洋観測
(海洋気象観測船)



地上観測
(南鳥島気象観測所 他)

表紙の地球は、世界各地で観測された二酸化炭素濃度をもとに、数値シミュレーションで推定した2016年8月の濃度分布です。年月や地域によって二酸化炭素濃度は変化します。



気象庁ホームページ 温室効果ガス
https://www.data.jma.go.jp/ghg/info_ghg.html


お問い合わせ先

気象庁 地球環境・海洋部 環境気象管理官
代表電話：03-3212-8341 (内線 4164)



知っていますか？ 二酸化炭素と 地球温暖化



 **気象庁**
Japan Meteorological Agency